

## 業績のハイライト

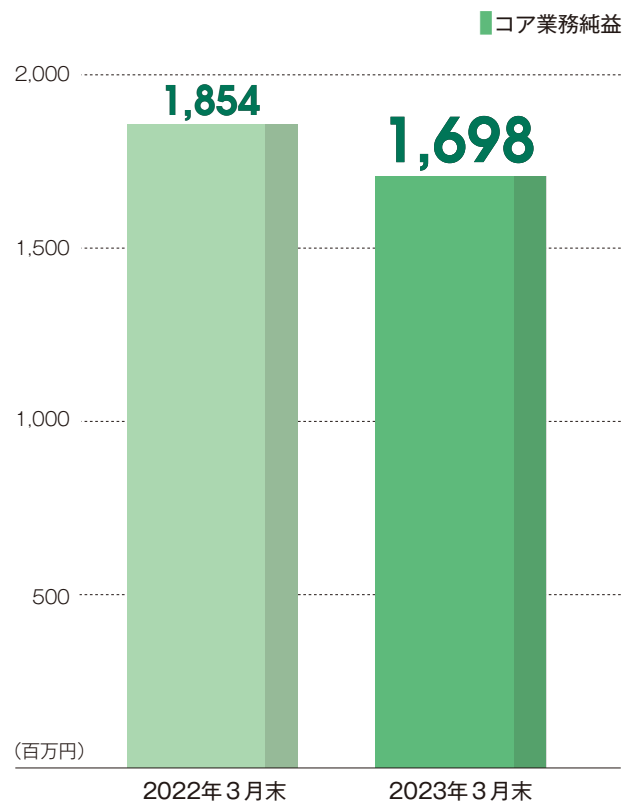
収益面においては、経常収益が 8,010 百万円（前期比 298 百万円の減少）、経常費用が 6,523 百万円（同 348 百万円の増加）となりました。経常利益は 1,486 百万円（同 647 百万円の減少）、特別損益 1 百万円計上後の税引前当期純利益は 1,487 百万円となりました。法人税、住民税及び事業税 341 百万円、法人税等調整額 135 百万円を減算した当期純利益は 1,010 百万円（同 665 百万円の減少）となりました。

### 損益の状況

経常収益の内訳は、貸出金利息は残高減少により 4,508 百万円（前期比 2.1% 減）、有価証券などの運用収益は利回り向上と円安効果により 2,470 百万円（同 4.7% 増）、役務取引等収益は 716 百万円（同 0.2% 減）、その他業務収益は国債等債券売却益等の減少により 32 百万円（同 85.9% 減）となりました。その他経常収益は 283 百万円（同 28.1% 減）となりました。

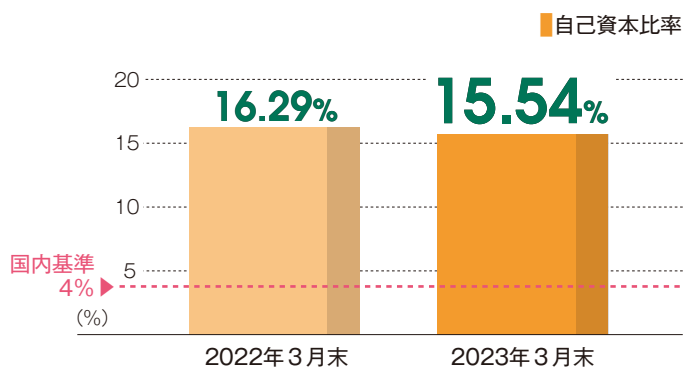
一方、費用面においては、経常費用が 6,523 百万円（同 5.6% 増）となりました。主な内訳は預金利息などの調達費用が 487 百万円（同 7.6% 増）、経費については、物件費 1,505 百万円（同 4.8% 減）人件費 3,308 百万円（同 0.8% 増）、その他業務費用は、外国為替売買損の増加により 237 百万円（同 15.3% 増）、その他経常費用は 462 百万円（同 359.6% 増）となりました。その他経常費用の内訳は、信用コスト増加による貸倒引当金繰入 290 百万円、貸出金償却 34 百万円、株式等売却損 90 百万円、その他 47 百万円となりました。

以上の結果、業績のハイライトに記載のとおり利益計上となりました。なお、コア業務純益は 1,698 百万円と前期比 155 百万円の減少となりました。



### 自己資本比率の状況

2023年3月末の自己資本比率は 15.54%（前期比△0.75%）となりました。引き続き十分な水準を維持し、経営体質の健全性、安全性が確保されています。

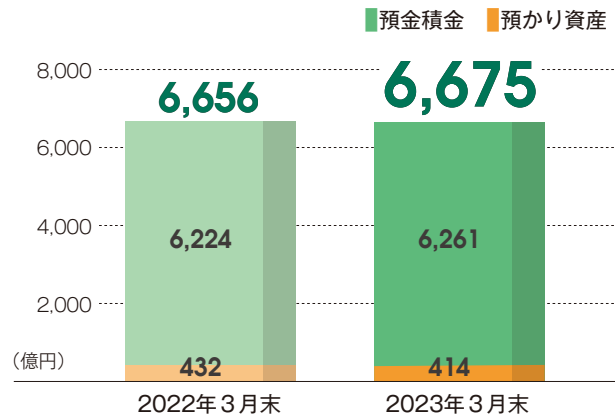


## 預金積金・預かり資産の状況

2023年3月末の預金積金残高は、626,146百万円、前期比3,700百万円(0.6%)の増加となりました。科目別内訳では、普通預金など要求性預金が前期比12,127百万円の増加、定期預金、定期積金合計が8,240百万円の減少、外貨預金は185百万円の減少となりました。外貨預金を除く人格別残高では、個人預金が497,908百万円と前期比3,702百万円の増加、法人預金が127,864百万円と同183百万円の増加となりました。

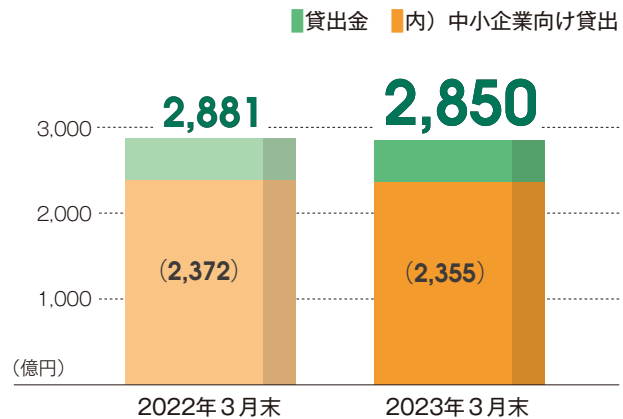
預かり資産残高(国債・投資信託・個人年金保険・終身保険の合計)は41,447百万円、前期比1,780百万円(4.1%)の減少となりました。

以上の結果、預金積金と預かり資産の合計残高は、667,594百万円、前期比1,952百万円(0.3%)の増加となりました。



## 貸出金の状況

2023年3月末の貸出金残高は、285,066百万円、前期比3,059百万円(1.1%)の減少となりました。科目別内訳では、割引手形299百万円の減少、手形貸付が2,251百万円の増加、証書貸付が4,997百万円の減少、当座貸越が13百万円の減少となりました。人格別残高では、法人が615百万円の増加、個人が3,674百万円の減少となりました。資金用途別残高では、運転資金が2,271百万円の減少、設備資金が609百万円の増加、個人住宅関連資金が1,449百万円の減少、個人消費資金が52百万円の増加となりました。



## 有価証券の状況

2023年3月末の有価証券残高は228,313百万円、前期比3,614百万円(1.6%)の減少となりました。内、その他保有目的の有価証券の評価損益は2,068百万円の評価損(前期比4,540百万円減少)となっています。運用については、安全性・流動性を重視して、国債・地方債等の公共債を中心に行っています。

